

NDE シンポジウム 2011

—構造健全性と非破壊評価—

開催日時：平成 23 年 11 月 14 日（月） 10：00～17：30

開催場所：東京大学 山上会館 2階 大会議室（東京都文京区本郷 7-3-1）

主催：(財)発電設備技術検査協会

参加費：無料

[開催趣旨]

原子力設備の安全を維持するうえで溶接継手部の健全性を確保することは必要不可欠であり、構造健全性を評価する分野ときずの有無や材質変化を非破壊評価（NDE）する分野の研究者/技術者の緊密な連携が、健全性をより一層確実なものに高めていくことは明らかです。このために、両分野の関係者が一堂に会して、研究開発や実機適用事例に係る現状及び課題を共通に認識して今後の研究開発課題や方向性を議論することで、原子力設備の安全性の維持・向上に大きく貢献することが期待されます。

上記趣旨に基づいて NDE シンポジウムを企画しました。両分野の専門家同士の意見交換を通じて、原子力発電所における溶接構造物の信頼性の更なる向上を図る手がかりとしていきたいと考えています。

[プログラム]

開会の挨拶（(財)発電設備技術検査協会 理事長 佐々木宜彦）

1) 基調講演・・ 10:00—11:30

- 「プロアクティブ材料経年劣化評価と非破壊技術への期待」 東北大学 教授 庄子哲雄
- 「非破壊高度化のための信号処理の役割」 会津大学 教授 兼本 茂

—昼食（11:30～13:00）—

2) セッション1：構造健全性評価・・ 13:00—15:00

- 「健全性評価関連 SCC 研究の現状と課題」 (財)電力中央研究所 新井 拓
- 「確率論的破壊力学に基づく健全性評価」 (独)日本原子力研究開発機構 鬼沢邦雄
- 「軽水炉圧力容器用材料の変遷とその製造技術—健全性、溶接性、検査性の観点から—」 (株)日本製鋼所 塚田尚史
- 「Ni 基 600 合金溶接金属の SCC 発生に及ぼす化学成分、熱処理の影響」 (財)発電設備技術検査協会 西川 聡

—コーヒーブレイク（15:00～15:30）—

3) セッション2：非破壊評価・・ 15:30—17:30

- 「JNES における非破壊検査に係る安全研究」 (独)原子力安全基盤機構 坂本一信
- 「構造信頼性確保のための欠陥検出性能要求」 (株)テプコシステムズ 町田秀夫
- 「配管溶接部への放射線透過試験(RT)における CR(Computed Radiography)技術の実機適用性検討」 三菱重工業(株) 佐々木遼也
- 「ECT による減肉測定に関する研究」 (財)発電設備技術検査協会 山本敏弘

閉会の挨拶（(財)発電設備技術検査協会 理事 戸根孝義）

[懇親会]・・ 17:50—19:50

開催場所：東京大学 山上会館 1階 談話ロビー

会費：2,000円

◆定員：100名

(会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◆申込締切：平成23年11月4日(金)

◆お申込／お問合せ先

参加申込フォームより必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

参加申込フォーム

〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町14-1

(財)発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター 管理グループ (山本, 尾形, 吉野)

E-mail:ndecenter@japeic.or.jp TEL:045-511-2751, FAX:045-511-2750,

- ・申込の受付確認をE-mailで配信いたします。配信されない場合は、上記問合せ先までご連絡下さい。
- ・懇親会出席の場合、会費2,000円は会場にて申し受け、領収書を発行させていただきます。

◆会場ご案内

会場：東京大学 山上会館

(TEL:03-3818-3008 会場マップURL: http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

最寄り駅(地下鉄)：

- ・丸の内線
本郷三丁目駅 (徒歩8分)
- ・大江戸線
本郷三丁目駅 (徒歩6分)
- ・千代田線
湯島駅/根津駅 (徒歩8分)
- ・南北線
東大前駅 (徒歩10分)
- ・三田線
春日駅 (徒歩10分)

